

円すいころ

円すいころは、円すい形状の転動体で、ラジアル荷重とアキシアル荷重を両方支えることができ、高い耐荷重性能を持ちます。主に円すいころ軸受に使用され、荷重を効率的に分散します。

サイズ

外径(mm)： $\phi 20 \sim \phi 35$

長さ(mm)：20~70

外径角度(°)： $2^{\circ} \sim 8^{\circ}$

(対応サイズを超える場合は要相談)

精度

外径長さ公差(mm)： ± 0.05

直径真円度(mm)：0.05~0.06

半径真円度(mm)：0.03

表面粗さS(mm)：15~25

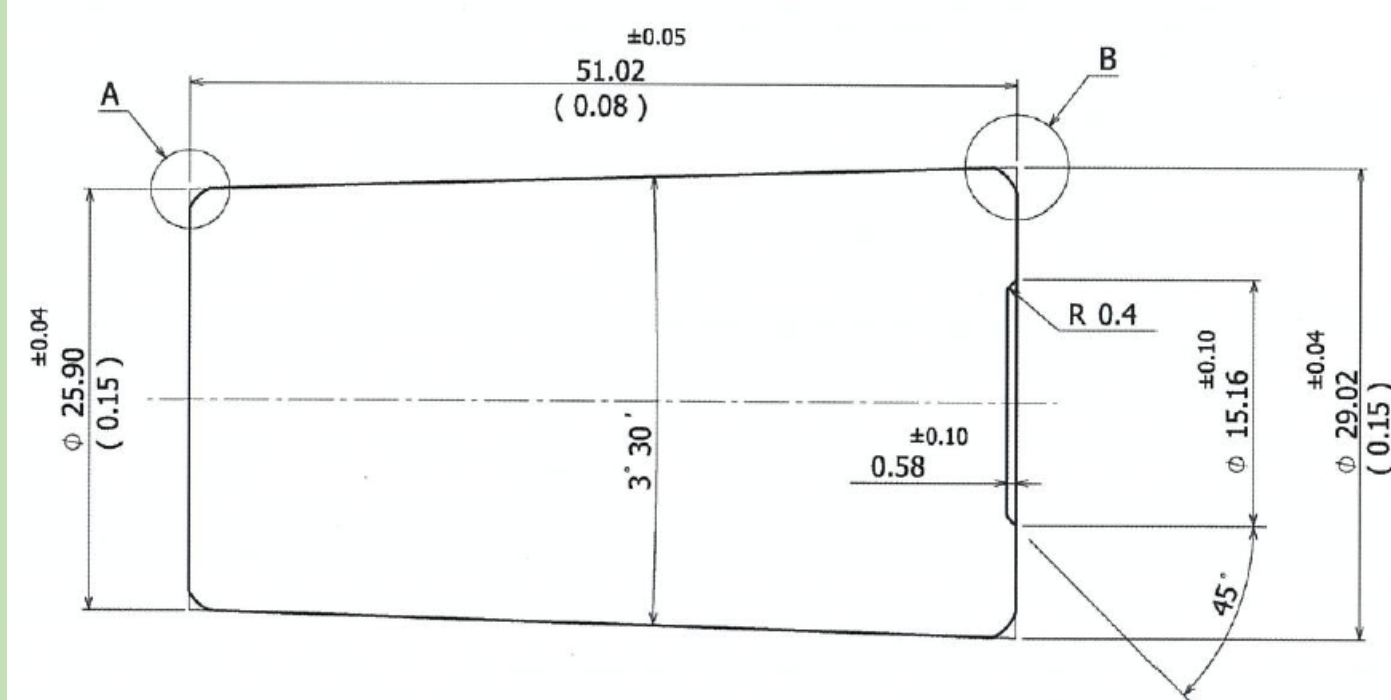
材料と製造工程

材料：SUJ-2、SUJ-3、浸炭

製程：旋削

生産：20万/月

認証：ISO9001取得



製造プロセス — 旋削

資材管理

材料は材質ごとに管理を行い、生産工程に必要な材料が十分に供給されるように徹底します。



圓棒切断

丸棒は必要な長さに切断し、旋削および鍛造工程の要求に合わせて切断面を整えることで、高い品質を維持します。



NC旋盤

材料を切断し、両面を加工して球面、円柱、円錐形状に仕上げます。加工後は寸法を測定し、顧客の要求に適合していることを確認します。

外観検査

表面に傷や割れなど欠陥がないか確認した上で、検査完了後は顧客の梱包仕様に従い梱包します。



出荷検査

最終製品については抜き取り検査を実施し、真円度、外径、粗さ、端面の振れを確認した上で、顧客の要望に従い梱包および出荷します。

